

②熊本地震における TEC-FORCE および TEC-徳島の活動状況を紹介するパネル（例）

TEC-FORCE パネル

道路の早期復旧へ 国土交通省 四国地方整備局

被災状況を調査

支えに！



県道28号線の被災状況調査
2016.4.30撮影

4月16日より5月9日までの期間、TEC-FORCE(テックフォース)道路班として合計32名の職員を現地に派遣。早期応急復旧に向け、熊本県阿蘇郡南阿蘇村等において、国道57号の大規模道路崩壊箇所等の工事用道路の計画作成、村道の橋梁点検、県道28号線等の被害状況調査を実施しました。



被災地の現況調査（南阿蘇村）



橋梁の点検状況（南阿蘇村）

被災地の早期復旧へ 国土交通省 四国地方整備局

災害対策機械を派遣

支えに！



大規模崩落箇所での土砂撤去作業状況
2016.4.26撮影

4月15日より、被災地への支援として、災害対策用のヘリコプター「愛らんど号」、遠隔操縦式バックホウ2台、衛星通信車1台を現地に派遣。早期応急復旧に向け、熊本県阿蘇郡南阿蘇村等において、上空からの被災状況調査、大規模道路崩壊箇所等の土砂撤去、災害対策本部との通信支援を実施しました。



高松空港より現地に向け飛び立つ「愛らんど号」



南阿蘇村にて通信支援を行う「衛星通信車」

TEC-徳島パネル

TEC-徳島（徳島県緊急災害対策派遣チーム）の活動

◎TEC-徳島「熊本地震支援」の経緯
熊本地震は最大震度7の2回の地震により、宅地や家屋に大きな被害が発生した。
徳島県は熊本県からの要請を受けて、TEC-徳島から、「建築物判定班」と「宅地判定班」を熊本県に派遣しました。

◎派遣状況

- ・建築物判定班（被災建築物応急危険度判定士）
派遣期間 平成28年4月19日（火）～5月2日（月）
派遣人数 計12名 のべ60人・日派遣
- ・宅地判定班（被災宅地危険度判定士）
派遣期間 平成28年4月22日（金）～5月23日（月）
派遣人数 計30名 のべ147人・日派遣

◎活動状況



◎TEC-徳島とは

県内や他の都道府県で発生した地震や風水害などの大災害発生時に、被災した市町村や他の都道府県等から「専門的な知識を必要とする職員の支援」を要請された場合、「県の技術職員」を「緊急的」に被災地に派遣して、技術的な支援を行うためのチームです。
要請があれば、速やかに職員を派遣できるよう、各専門分野ごとにあらかじめ職員を登録しています。

TEC-徳島（徳島県緊急災害対策派遣チーム）の活動

被災宅地危険度判定とは…

災害対策本部が設置されるような、大規模な地震または大雨等によって、宅地が大規模かつ広範囲に被災した場合、要請を受けた被災宅地危険度判定士が危険度判定を実施し、被害の発生状況を迅速かつ的確に把握することにより、宅地の二次災害を軽減・防止し**住民の安全を確保**することを目的としています。

◎判定の概要



被災宅地危険度判定の結果は、「赤、黄、青」の判定ステッカーを見えやすい場所に表示し、当該宅地の使用者・居住者だけでなく、宅地の付近を通行する歩行者にも安全であるか否かを識別できるようにします。
判定ステッカーには、判定結果に基づく対処方法についての簡単な説明、二次災害防止のための注意、判定結果についての問い合わせ先も記入します。

※簡易判定とは…

熊本地震における被災宅地危険度判定は、膨大な数の被災宅地を調査しなければならないため、短期間で調査を完了することは困難です。そのため、危険度の高い箇所を重点的に行うことを目的に「赤、黄、青」のほか、「簡易黄」、「簡易青」の簡易調査を取り入れた判定が実施されています。